

## 奥山 紘一氏（元東北地質調査業協会理事長） 「旭日雙光章」受章

昨年の11月3日に秋の叙勲受章者が発表され、(株)新東京ジオ・システム代表取締役社長の奥山紘一氏が旭日雙光章を受章されました。奥山氏は東北地質調査業協会の理事長を2期歴任され、東北地質調査業協会からの叙勲受章者は平成10年の(株)テクノ長谷社長の長谷弘太郎氏以来であり、協会としても大きな喜びでもあります。

また、去る2月17日には山形県天童市で叙勲受章祝賀会が開催されました。会場には山形県知事を始め天童市長、衆・参・県会議員他多数の名士、協会関連では全地連から



伝達式会場「東京プリンスホテル」にて

成田賢会長、山本聡専務理事、池田俊雄事務局長、当協会からは高橋和幸理事長、奥山和彦副理事長（一般社団法人斜面対策技術協会会長、東北支部長）、早坂功前理事長、大友秀夫総務委員長（社団法人全国さく井協会東北支部長）、新田洋一技術委員長、高橋克実広報委員長、他各県理事の面々が参席され、総勢350余名の盛大な祝賀会でした。

当協会の高橋理事長からの祝辞では、奥山氏の地質調査業務・地すべり防止対策工事に関わる業績と地質調査業協会への功労に対する感謝が述べられました。また、奥山氏は平成17年に国土交通大臣表彰受章、また平成19年に地質調査業精励より黄綬褒章を受章されており、今回の叙勲は更なる名誉の受章であります。



祝賀会での奥山氏挨拶



勲記と勲章

以下奥山氏の挨拶（抜粋）

この度、昨年秋の叙勲に際し、地質調査・地すべり防止工事などの専門工事精励により旭日雙光章受章の栄にあずかることができました。去る11月8日、国土交通大臣から勲記・勲章の伝達を受け、夫婦共々勲章を佩用して皇居に参内し、天皇陛下に拝謁の栄を賜り、ありがたいお言葉をいただいております。誠に身に余る光栄であり、感激の極みでありました。これも偏に永年に亘って多くの方々からの暖かいご指導とご厚情の賜とこころから感謝申し上げます。

.....

奥山氏の略歴(業界歴)・受賞

- ・昭和45年9月 山形県さく井地質調査業協会 理事・副理事長
- ・昭和53年9月 (社)斜面防災対策技術協会東北支部 理事
- ・昭和56年5月 東北地質調査業協会 理事
- ・平成8年8月 全国地質調査業厚生年金基金 理事
- ・平成9年5月 (社)全国地質調査業協会連合会 理事
- ・平成15年5月 山形県地質調査業協会 理事
- ・平成15年5月 (社)全国地質調査業協会連合会 常任理事  
東北地質調査業協会 理事長
- ・平成15年10月 (社)全国地質調査業協会連合会 会長表彰受章
- ・平成17年7月 国土交通大臣表彰受章
- ・平成19年4月 黄綬褒章受章
- ・平成24年8月 山形県知事顕彰(優良建設工事)受章
- ・平成25年8月 山形県知事顕彰(優良建設工事)受章
- ・平成25年11月 旭日雙光章受章

文責：事務局 東海林

◆旭日双(雙)光章

日本の勲章の一つで、旭日章(きょくじつしょう)6つのなかの一つ。2002年(平成14)8月の閣議決定「栄典制度の改革について」により、「現在の名称になった。翌2003年5月の閣議決定「勲章の授与基準」によれば、対象者は、公職では政令指定都市以外の市長、特別区の区長、町村長、都道府県議会議員、市議会議員、特別区の議員、町村議会議員、公益団体では都道府県区域を活動範囲としている団体の長、全国または都道府県の区域を活動範囲としている団体の役員、市町村の区域を活動範囲としている団体の長、企業経営者では国際的に高い評価を得た企業や技術がとくに優秀な企業の最高責任者である。伝達は所管大臣が行うが、総務省および厚生労働省関係は都道府県知事が行う。

◇英訳名は The Order of the Rising Sun, Gold and Silver Rays

